

日本生協連の新電力会社（PPS）「地球クラブ」 4月1日より生協事業所 168カ所への電力供給を開始 ～一般家庭 2.2万世帯^{※1}の年間使用量に当たる、年間約1億 kWh を調達し供給～



日本生活協同組合連合会（略称：日本生協連、会長：浅田克己）の新電力会社（PPS^{※2}）「株式会社地球クラブ」（代表取締役社長：稲橋邦彦＜日本生協連・事業支援担当執行役員＞）は、2015年4月1日（水）から、首都圏にある日本生協連と生活協同組合コープみらい（理事長：田井修司、本部：さいたま市）の事業所 168カ所^{※3}に契約電力^{※4}計 20メガワット（MW）規模の電力供給を開始します。

日本生協連は、原子力発電に頼らないエネルギー政策の実現と持続可能な社会をめざす立場から、再生可能エネルギー普及の一環として、2012年度より全国7カ所の自社物流施設に太陽光発電設備の設置を進めてまいりました。また、2014年9月には、岩手県野田村に建設される木質バイオマス発電所、（株）野田バイオパワーJPに日本生協連と東北の3生協が出資しました。

2014年6月20日には、再生可能エネルギーの発電と利用を一体的に推進するため、自家需要をまかなう PPS「（株）地球クラブ」を設立し、事業開始に向けた準備を進めてまいりました。このたび準備が整い、4月1日から首都圏にある日本生協連の本部事務所や商品検査センター、コープみらいの店舗、宅配センターなどへの電力供給を開始します。

当面の電源調達は、日本生協連の自社物流施設と、コープみらいが加入するコープネット事業連合の物流施設に設置された太陽光発電による約 2.5MW と、天然ガス発電や工場余剰電力などの外部調達を予定しています。なお、2016年からは（株）野田バイオパワーJPの稼働に伴い、ここからの調達も見込んでいます。

日本生協連では新電力会社の事業を通して、太陽光発電や木質バイオマス発電など、再生可能エネルギーのさらなる普及促進をめざしてまいります。



（株）地球クラブが電力供給を開始する生協事業所のひとつ、コーププラザ（日本生協連本部、東京都渋谷区）

- ※1 世帯数換算は、「家庭におけるエネルギー消費実態について」（資源エネルギー庁・平成22年度）より、1世帯 4,618kWh/年で算出。
- ※2 Power Producer and Supplier の略。一般電気事業者（電力会社）以外で、50 kW 以上の高圧電力を必要とする大口需要家に対し電気の小売り供給を行う事業者。
- ※3 日本生協連：コーププラザ、商品検査センター（埼玉県蕨市）の計2カ所。
コープみらい：事業エリア（千葉・埼玉・東京）内の店舗 88、宅配センター69、事務所9の計166カ所。
- ※4 ピーク時の使用電力をもとにした契約量。

＜お問い合わせ先＞

日本生協連 広報部

TEL：03-5778-8106